

報徳 決勝ならず

男子準決勝の報徳は、2月の近畿新人大会で破った洛南に、今度は歯が立たなかつた。田中コーンチが「デービッド（コンゴロー）頼みじや駄目」

「以前と違い、相手の『デイフエンス』に勢いがある」と感じた。身長200cmの宇都宮は、先発ガードの立役となつた。

8セツのコンゴローにバスを入れる報徳の得点バターンは、2～3人がかりで取り組み、一步も引かない洛南を前に不発。相手守備は外への当たりも

た先発フォワードの本多は「チームはまだ仕上がりっていない。僕たちは3年生がまとめ、ゲームに臨みたい」と立て直しを期した。（藤村有希子）

得点パターン阻まれ不発



男子準決勝・洛南一報徳 第4クオーター、相手をかいくぐりシュートを決める報徳の本多(中央)

バスケットボールの近畿高校大会最終日は23日、大阪市の丸善インテックアリーナ大阪で男女

の準決勝と決勝があり、
兵庫勢で唯一、4強入り
した男子の報徳は準決勝
で洛南（京都）に73-92
で敗れた。
男子は東山（京都）が
2年ぶり4度目、女子は
大阪薫英女学院が1年連
続33度目の頂点に立つ
た。今大会から男女の優
勝府県に、12月の全国高
校選手権の出場枠が新
たに与えられる。

バスケットボール

大阪薫英女学院が11年連続33度目の頂点に立つ

東山(京都)89-60 関大北
【男子】準決勝